

災害に備えて

最近の有珠山は、20~30年ごとに噴火しています。そして、今後もまた噴火するでしょう。この「防災マップ」はある想定に基づく危険区域を示しています。次の実際の噴火がこの通りになるわけではありません。この「防災マップ」を日頃の備えの参考として学び、実際の噴火時には想定にとらわれず、正確な情報にもとづき、現実に発生している現象を正しく判断して、最適な対応ができるようになります。

東日本大震災では、平時から災害に備え、そのとき適切に行動した多くの人が助かっています。有珠山でも從来から取り組まれてきたように、町民の皆さんには、普段からこの防災マップをよくご覧になり、減災のための取り組みに積極的に参加して、緊急時には安全に行動できるよう備えてください。持続的で安全なまちづくりは、洞爺湖有珠山世界ジオパークの重要な理念のひとつであり、これまでの町民の皆さんの努力が国際的に認められた証です。

この防災マップでは、有珠山の噴火災害を中心に記載していますが、河川の氾濫やがけ崩れなど、この地域では他の自然災害が発生する可能性もあります。いずれの場合も、日頃の備えと適切な行動があなたや家族の命を守ります。

避難生活に備えて～非常持ち出し品の準備～

有珠山が噴火すると、火口に近い地域や災害の危険のある地域の人々は、火山活動が落ち着くまでの一定期間、避難生活を送らなくてはならない場合があります。特に常備薬を服用したり、乳幼児がいる家庭などでは、特有の必要物資があるため、災害の状況等によって外部からの援助物資が届かない期間でも安全に暮らすことができるよう、家族の構成に応じた最低限の必要物資をいつでも持ち出せるように準備しておきましょう。



平時の心得

● 事前に備えておくこと ●

家具固定など室内の安全を確保します

就寝時などに大型家具等の下敷きにならないようにしましょう。



災害や減災の知識を身につけます
緊急時に適切な行動ができるよう、日頃から減災に関する知識を学ぶよう努めましょう。



地震を感じたら噴火を警戒します

地震が発生し始めたら町や消防に通報し、公的情報に注意して、緊急避難に備えましょう。

非常時のために家庭内で備蓄します
物資供給の停止に備え、5日間ほど自活できるよう、日頃から家庭内の備蓄をしておきましょう。

非常備蓄品チェックリスト

□水	□電源不要ポータブルストーブ
□非常食	□非常用給水袋・水タンク類
□カセットコンロ	□懐中電灯
□紙食器・割り箸	□古新聞
□ロウソク・ランタン	□スコップ
□携帯用トイレ	□バール



確実に情報を得る方法を準備します

緊急時に確実に情報を入手するため、停電時でも可能な方法を準備します。



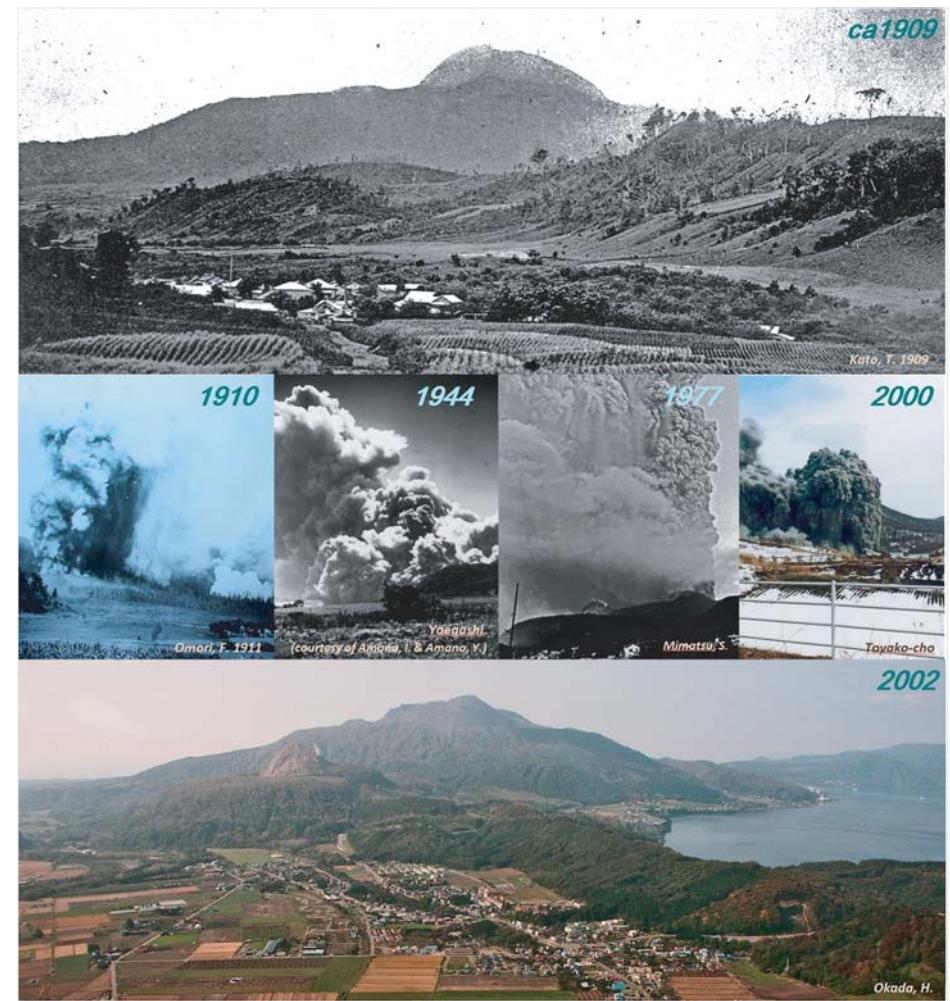
緊急時の避難場所や避難経路を確認します

緊急時に迅速に避難するため、安全な避難場所や避難経路、連絡方法を家族などと話し合っておきましょう。



災害に備えて準備しましょう

壮瞥町 防災マップ



平成 25 年 4 月発行

 **壮瞥町** SOBETSU TOWN HOKKAIDO

避難時の心得

● 留意すべきこと ●

役場からの情報に注意します

災害が切迫していたり、夜間など移動するのが危険な場合には「屋内での待機」を呼びかけることがあります。

避難前に二次災害の防止措置を行います

通電再開時の火災や地震によるガス漏れ等を防ぐため、必ず電気ブレーカーを切りガスの元栓を閉めて、戸締りをして避難します。

必要な物資を持って避難します

避難後の生活に備えて、本紙の「災害に備えて」のページにあるような物資を持って避難します。

安全な装備で避難します

避難時には右図のような装備で風向きを確かめ、噴石や降灰から頭と目を守ります。



ヘルメット
防災頭巾
または
座布団
ゴーグル
マスク
濡らしたタオル
リュック
軍手
ズボン
歩きやすい靴

できるだけ2人以上で避難します

避難する際には、危険を回避したり、互いの状況を確認し、互いに助け合いながら行動することが大切です。



近隣の人どうして協力し合うようにします

一人では情報を得たり行動できない人や、早めの避難を要する人がいます。避難時には近隣どうしで声を掛け合うなど協力して避難するよう心がけます。

噴火時に起こること

火山現象による様々な危険があります

噴火時には、以下の現象に注意し、安全を確保しながら避難します。

有珠山ではこれまでに以下の火山現象が発生してきました。

火碎流・火碎サーチ 火山ガスと噴出物が高温・高速で山麓を襲います。



噴石 岩などが周囲に降ってきて人や建物に被害を与えます。



降灰 風下に多量の火山灰が降り、呼吸器や交通に障害を引き、建物の倒壊を招きます。



泥流 大雨や積雪期の融雪水などで、火山灰や土石が激しく流れ、被害を与えます。



地殻変動 マグマが動き地盤が変形して、建物や道路、水管等に被害を与えます。

